

しきゆたか速報 No.7

多収米 生育調査

福井基幹支店 JA福井県 多収米部会

福井県内ナンバーワン単収を誇る 超多収性品種!!

令和4年7月7日

● 稲体をこまめに確認！病害発生を確認したら早期防除！！

1. JA生育調査状況（7月6日現在）

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	R4	5月3日	79.7	437.5	—	4.0
	R3	5月2日	66.9	465.3	10.6	4.2
直播	R4	5月5日	64.7	475.2	—	4.8
	R3	5月5日	59.6	595.1	—	4.3

7月2日には海開きもされ、連日猛暑日が続いています。気温の高い日が続くことから稲の生育も早まっている圃場も見受けられます。

今後は、フェーン現象発生情報や台風・大雨情報等に注意して、適正な水管理に努めましょう。

しきゆたかの栽培管理ポイント

今週も気温が高く好天が続く予想です。幼穂形成期に入った圃場は中干しを終了し間断通水管理に移行しましょう。

移植

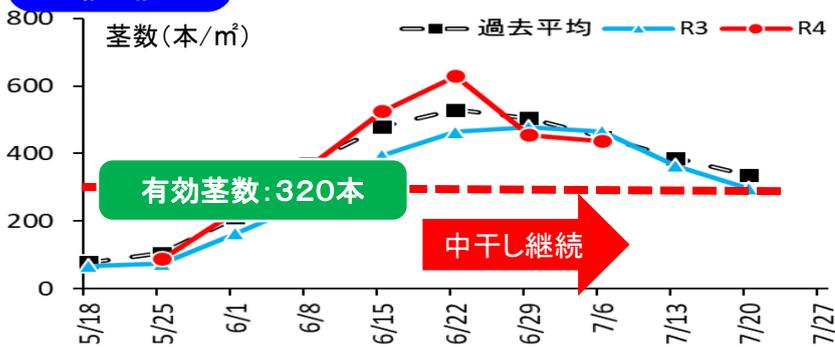
移植栽培の茎数は、一時期平年を上回っていたものの、現在は平年並みに戻りました。生育調査地点において幼穂は未確認ですが、幼穂形成期を迎えたら中干しを終了し間断通水管理に移行しましょう。また、紋枯れ病の発生に注意し、前年発生した圃場では防除薬剤の散布を検討しましょう。

直播

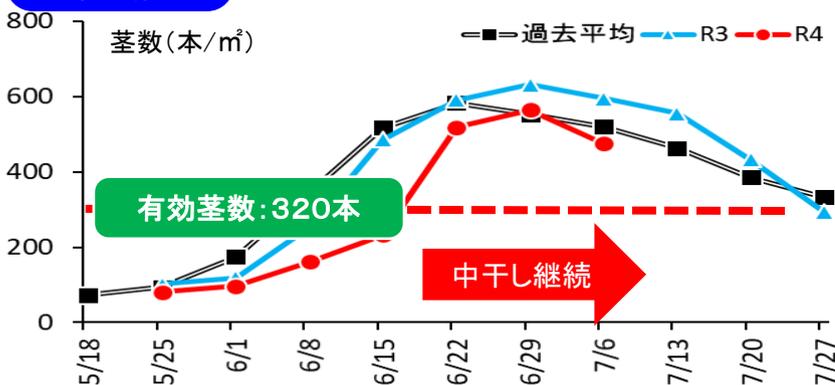
直播栽培の茎数は、前年と比較すると大幅に過剰分げつが抑えられている状況にあります。生育調査地点での幼穂は未確認となっており、適度な中干しを継続しましょう。また、紋枯れ病の発生に注意し、前年発生した圃場では防除薬剤の散布を検討しましょう。

2. 茎数の推移と今後の管理

移植



直播



3. 早期防除で単収向上

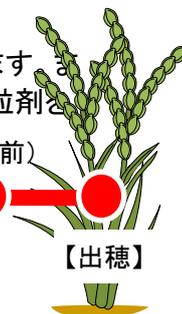
【紋枯病の防除】

紋枯病は稲の株元から徐々に上部に伸展し、ひどい場合は稲が白穂になり収量が著しく減収します。また、稲体が弱くなり倒伏しやすくなります。昨年、紋枯れ病の発生が多かった圃場では、リンバー粒剤を7月中旬から下旬に散布しましょう。

- ◇農薬: リンバー粒剤
- ◇使用量: 3~4kg/10a
- ◇散布時期: 出穂5~30日前



湛水状態で散布し、3~4日間は保つ



適期管理で収量アップを目指しましょう。今週のしきゆたか速報は『東部支店』が担当しました。